

第3回 SATサイエンスカフェへのご案内

主 催： つくばサイエンス・アカデミー(SAT)
日 時： 3月24日(木) 17:30~19:30
会 場： つくば国際会議場 1階のレストラン「エスポワール」
会 費： 500円(コーヒー代を含む)

話題：「都市鉱山の課題と将来ビジョン」

話題提供者： 産業技術総合研究所・環境管理研究部門
総括研究主幹 大木 達也 氏

日本の製造業は海外の天然資源の輸入に強く依存し、常にその供給リスクを抱えています。天然資源に乏しい日本が技術先進国として持続的な発展を遂げるには、国内に潜在する廃電子機器などの「都市鉱山」を、資源供給源とする社会の構築が望まれます。我が国の都市鉱山における金の賦存量が世界埋蔵量の16%近くに及ぶなどとの説も出され、都市鉱山の持つ意義が一躍脚光を浴びましたが、現実には数年前の金属価格急騰は去り、急場凌ぎの都市鉱山開発もほぼ終焉を迎えています。しかしながら、欧州におけるRE(Resources Efficiency), CE(Circular Economy)政策や、中国のレアアース国際標準化の動きなど、世界では新たな資源循環秩序の構築に向け、各国の産業政策や資源ナショナリズムに基づく中・長期の戦略的活動が本格化しようとしています。日本は既に高いリサイクル率を誇っていますが、実は、このリサイクルとは「埋め立てない」というだけで、資源として循環利用できているわけではありません。例えば、数年前に高騰したレアメタルもリサイクルはされていますが、多くは道路の下地材などに利用されるだけで、本来の金属の機能を生かした循環利用は全くなされていないといっても過言ではありません。単にゴミを減らす旧来のリサイクルとは異なり、都市にある豊富な人工資源を、再び高機能な金属として活用するのが都市鉱山です。しかし、地球が長い年月をかけて資源を濃縮してきた天然鉱山と違い、都市鉱山ではその濃縮を人工的に果たさなければならぬため、回収量やコストの問題が克服できず、都市鉱山は未だ軌道に乗っていません。この様な状況を打開するため、現在、政府や産総研では、未来に向けた新たな都市鉱山戦略の構築を目指しています。

そこで今回の第3回SATサイエンスカフェでは、産総研における「戦略的都市鉱山」思想の推進者であり、その実用化に向けた民間との連携組織であるSUREコンソーシアムの代表者でもある大木達也氏に話題提供をお願いし、産総研の戦略的都市鉱山研究拠点(SURE)における取り組みと共に、未来の都市鉱山の在るべき姿とその問題点などをできるだけ分かり易くご紹介して頂くことになりました。

つきましては、“都市鉱山”の資源的意義とその問題点等を学ぶ絶好の機会となるこのイベントにできるだけ多数の方がご参加下さるようご案内申し上げます。

参加ご希望の方は、つくばサイエンス・アカデミー事務局(メール：academy@epochal.or.jp)に「第3回SATサイエンスカフェ参加希望」と明記し、①氏名、②所属(元でも結構です)、③連絡先(電話、e-mail)をご連絡下さるようお願い申し上げます。

お問い合わせは、電話：029-861-1206 つくばサイエンス・アカデミー事務局
会場・駐車場へのアクセスは、https://www.epochal.or.jp/access/map_shuhen.html をご参照下さい。(お車の方は、南駐車場あるいは北駐車場にご駐車下さい。無料駐車券をご用意します。)